

管弦楽:

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約160人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル 検索

指揮:

横山 奏

北海道札幌市出身。東京藝術大学大学院修了。2018年に開催された第18回東京国際音楽コンクール〈指揮〉部門で、第2位及び聴衆賞を受賞した。

これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、日本各地の有名なプロオーケストラに招かれ、指揮している。



東京・渋谷の Bunkamuraオーチャードホールにて



©上野隆文

司会:

塚本江里子

東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院オペラ科修了。これまでに数多くの演奏会やオペラ、ミュージカルに出演。ワークショップリーダーとして音楽ワークショップの制作にも携わる。2015年よりBSフジ「ポンキッキーズ」にて歌のおねえさんとして出演、司会やナレーションも務める。また論語指導士の資格を取得し子ども論語ワークショップを開催。ジャンルを越えて活動し、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。



知ってますか?

10月1日は「国際音楽の日」です



1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程	開催校
12月8日	村上市立保内小学校
12月9日	日光市立今市小学校
12月10日	日光市立栗山小中学校

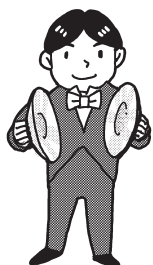


イラスト:こやま けいこ

月 日 ()

学校

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業― 東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan



「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

月日のワークショップから、
みんなで準備してきました

顔が見えるほど
近い距離で東京フィルを
聴けてよかった！



オーケストラの楽器もご紹介。



「ハイ！」
ボディパーカッションで
音楽に合わせてポーズ！

ボディパーカッション、
きちんと練習して
おきたいと思います！



みんなの「浜辺」の
体験やイメージは？

提供：西尾市

提供：西尾市

プログラム

アンダーソン：**舞踏会の美女**

（楽器紹介コーナー）オーケストラの楽器、紹介します

（指揮体験コーナー）ブラームス：**ハンガリー舞曲第5番**

シャーマン兄弟：**小さな世界**

ベートーヴェン：**交響曲第5番『運命』第1楽章より**

成田為三：**浜辺の歌**

オーケストラの名曲を聞いてみよう

校歌



東京フィルのみんなと
一緒に練習しました。



「ありがとう！」
「またコンサートで会おうね！」

コンサートでは
オーケストラ全部の
楽器が大集合！



そして今日！

速さにびっくり！
きれいな音でびっくり！
大迫力にびっくり！

みんなで鳴らそう！
ボディパーカッション

ロック
のリズム

ドンッ！ドンッ！ドンッ！ドンッ！

ラテン
のリズム

トッ！トッ！トッ！トッ！

日本
のリズム

どんどんどん カガカガカ どんどん！

……クラシックはどんなふうに表現するかな？
『運命』をいっしょにやってみよう！

日本の歌を歌おう！
「浜辺の歌」

作詞：林 古溪

作曲：成田為三

1. あした浜辺を さまよえば
昔のことぞ しのばるる
風の音よ 雲のさまよ
寄する波も 貝の色も

2. ゆうべ浜辺を もとおれば
昔の人ぞ しのばるる
寄する波よ 返す波よ
月の色も 星の影も

歌の「テーマ」をわけてみよう！

解説

アンダーソン (1908-1975)：
舞踏会の美女

ベートーヴェン (1770-1827)：
交響曲第5番『運命』第1楽章より

林 古溪 (1893-1945) 作詞
成田為三 (1893-1945) 作曲
浜辺の歌

アンダーソンは、短くてわかりやすい「ライト・クラシック」と呼ばれるオーケストラ作品の数々で高い人気を集めたアメリカの作曲家。彼が1951年に書いたこの曲は、美しい女性が舞踏会で踊っている姿をえがいた優雅なワルツです。のちに歌詞が付けられ、ポピュラー・ソングとしてもヒットしました。

ドイツの作曲家ベートーヴェンが200年以上前に書いた、クラシック音楽を代表する1曲。最初の“ジャジャジャ・ジャー”という音の動きを、ベートーヴェンが弟子に「運命はこのようなしてとびらを叩く」と説明したと伝えられることから、『運命』と呼ばれるようになりました。ほとんどその4つの音だけで作られているのも、この曲のすごいところ。今回は、ワークショップで練習した“ボディパーカッション”で、オーケストラといっしょに表現しましょう！

今から100年以上も前（大正5（1916）年）に作られた日本の歌。「浜辺を歩いていると、昔のことを思い出す」といった歌詞が、しみじみと歌われます。成田為三は、秋田に生まれ、山田耕柊に学んだ童謡作曲家で、児童雑誌「赤い鳥」に多数の歌を発表しました。代表作であるこの曲は外国の音楽家をふくめて広く親しまれています。

文：柴田克彦